

第3次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）の策定について

1 中期経営計画（経営戦略）とは

下水道事業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画。平成26年に総務省からの要請に基づき、すべての公営企業に策定が求められている。

2 策定の背景

少子化の進行による人口減少等に起因する使用料収入の伸び悩み、所有する施設の老朽化による更新需要の高まりなど、下水道事業経営を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。

現行の経営戦略（平成30年度から令和9年度まで）も5年が経過し、当時の見通しと実績との差異が見られるため（中間見直し）。

3 計画の期間

令和5年度から令和14年度まで

4 経営戦略の構成

第1章 計画の改訂にあたって

→計画改訂の趣旨、計画期間等

第2章 現状分析

→加須市の下水道事業の現状の分析、経営課題の洗出し

第3章 経営の基本方針及び基本目標

→経営の基本方針、基本目標の設定

第4章 投資・財政計画

→目標値、取組事項

→10年間の収支見直し

第5章 計画改訂後の検証・更新

→実施事業の評価及び評価結果の反映方法

用語解説

公営企業	地方公共団体が経営する下水道事業や水道事業等の企業活動
公共下水道事業	原則として市町村が事業を行う下水道
流域下水道事業	2以上の市町村の下水を処理する終末処理場を有する下水道
処理区域内人口	下水道が整備され、供用が開始された区域（処理区域内）に住む人の数
下水道普及率	行政人口に対する処理区域内人口の割合
水洗化人口	処理区域内で水洗便所を設置済みの人の数
水洗化率	処理区域内人口に対する水洗化人口の割合
有収水量	下水道使用料の賦課対象となる水量
使用料単価	有収水量 1 m ³ 当たりの使用料収入額
汚水処理単価	有収水量 1 m ³ 当たりの汚水処理費
経費回収率	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標
経常収支比率	経常収益と経常費用の比率を表したものであり、100%未満であると経常収支が赤字
一般会計繰入金	一般会計から別事業の会計に繰入れされる金額 汚水処理においては、公共用水域の水質保全等、公的便益が大きく認められることを踏まえ、その一部に一般会計からの繰入金が充てられている。
受益者負担金	下水道により利益を受ける者が、その建設費の一部を負担するという考えにより、条例で定められた額に基づき納付する負担金
収益的収支	営業活動（維持管理等事業の運営活動）に伴う収入と支出のことであり、主に下水道使用料・一般会計繰入金が収益的収入に、維持管理費・減価償却費・企業債利息が収益的支出に該当する。
資本的収支	営業活動以外の施設の建設等の資産形成に伴う収入と支出のことであり、主に国庫補助金・企業債が資本的収入に、建設改良費・企業債償還金が資本的支出に該当する。
企業債	公営企業が建設、改良等の費用に充てるために国等から借りた資金
資本費平準化債	元金償還金と減価償却費との差額を埋めるために発行する企業債
減価償却費	資産形成（管きよの構築など）にかかった費用を法定耐用年数で割った金額のこと。下水道は資産を長期に渡り使用し、その使用した期間をかけて使用料収入で費用を回収していく事業のため、資産形成にかかった費用も使用する期間で分割して収支を経理する。
内部留保資金	補填財源として使用される公営企業内に留保してある資金
不明水	汚水（し尿及び生活雑排水）のみを処理する下水道処理施設に、何らかの理由で流入した地下水や雨水など